

臨床感覚器学

科目到達目標: 1)アレルギー疾患の原因、検査法について説明できる。
 2)各領域の悪性腫瘍について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。
 3)各領域の感染性疾患について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。
 4)視力障害を来す疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。
 5)めまいをきたす疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。
 6)再建術を概説できる。
 7)再建術を概説できる。

科目責任者(所属 山元 修(皮膚病態学)

山田 七子(卒後臨床研修センター)

連絡先:0859-38-6597

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/15(水)	2		対面授業	緑内障	魚谷 竜	視覚病態学	緑内障の原因・症状・治療について理解する。	開放隅角・閉塞隅角緑内障、眼圧、緑内障に対する点眼、内服、外科的治療
2	4/15(水)	5		対面授業	皮膚感染症	山元 修	皮膚病態学	皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、よう、毛包炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。皮膚表在性と深在性真菌症の症候と病型を説明できる。	剥脱素、デスモグレイン、黄色ブドウ球菌、溶連菌
3	4/21(火)	1			母斑・母斑症	吉田 雄一	皮膚病態学	母斑症の症状と全身症状、予後について説明できる。	神経線維腫症1型
4	4/22(水)	2		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	鼻・副鼻腔疾患1	竹内 裕美	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	鼻・副鼻腔疾患(アレルギー性鼻炎は除く)の病態と診断及び治療を説明できる。	慢性副鼻腔炎、真菌性上顎洞炎、上顎癌、若年性鼻咽腔血管線維腫
5	4/28(火)	1			眼科概論・検査	井上 幸次	視覚病態学	眼球の構造を眼科の主要疾患と関連させて理解する(基礎感覚学の復習)。眼科の種々の検査を理解する。	視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査
6	5/11(月)	1			網膜1	佐々木慎一	視覚病態学	網膜疾患およびその治療について理解する。	網膜剥離、黄斑疾患、網膜硝子体手術
7	5/12(火)	1			乾癬・角化症	杉田 和成	皮膚科	尋常性乾癬、扁平苔癬とジベルばら色粒糠疹の病態、症候と治療を説明できる。	尋常性乾癬、扁平苔癬、ジベルばら色粒糠疹、類乾癬、魚鱗癬
8	5/18(月)	1		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	紅斑症・紅皮症	谷 直実	皮膚病態学	多形紅斑、環状紅斑と紅皮症の原因と病態を説明できる。	多形紅斑、結節性紅斑、粘膜皮膚眼症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、ペーチェット病
9	5/19(火)	1			頭頸部再建外科	八木 俊路朗	形成外科	頭頸部領域の再建形成外科について理解する。	植皮、有茎皮弁、遊離皮弁、筋皮弁、遊離空腸、微小血管吻合
10	5/19(火)	2			角膜	井上 幸次	視覚病態学	角膜疾患の病態を理解する。角膜移植とアイバンクについて理解する。	角膜ヘルペス、細菌性角膜炎、真菌性角膜炎、角膜ジストロフィ、円錐角膜、水疱性角膜症、角膜移植、アイバンク
11	5/25(月)	1			水晶体	稲田 耕大	眼科	白内障および水晶体疾患とその治療について理解する。	白内障(老人性、先天性、続発性、外傷性など)水晶体脱臼、眼内レンズ
12	5/26(火)	1			悪性黒色腫、その他間葉系腫瘍	後藤 寛之	皮膚病態学	悪性黒色腫について、臨床的病型、病期分類、予後について理解する。間葉系腫瘍の発生母地、構成細胞、予後について理解する。	悪性黒色腫、間葉系腫瘍

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
13	5/26(火)	2			耳鼻咽喉科の救急疾患 (外傷、気管切開など)	福島 慶	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学 (非常勤講師)	耳鼻咽喉・頭頸部領域の救急疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	気管切開、気道異物、咽頭異物、食道異物
14	6/2(火)	1		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	口腔顎顔面領域の 先天異常	土井 理恵子	歯科口腔外科	口腔顎顔面領域の先天異常を理解する。	口唇裂、口蓋裂、顔裂
15	6/2(火)	2			紫斑・血流障害・血管炎・ 光線性皮膚症	堤 玲子	皮膚科	皮膚血流障害と血管炎の原因、症候と病態を説明できる。	壊死性血管炎、アナフィラクトイド紫斑、血小板減少性紫斑病、DIC、特発性色素性紫斑、血栓性静脈炎、色素性乾皮症、種痘様水疱症、光線過敏症
16	6/8(月)	1	112	・対面授業	内耳疾患	矢間 敬章	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	内耳疾患、感音難聴の病態、診断および治療を説明できる。	内耳奇形、感音難聴、薬剤性難聴、 創音声難聴、補聴器、人工内耳
17	6/9(火)	1	112	・対面授業	湿疹皮膚炎(アトピー性皮膚 炎ふくむ)	山田 七子	卒後臨床 研修センター	湿疹反応を説明できる。接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹を概説できる。	湿疹三角、パッチテスト、一次刺激性、アレルギー性、アトピー体質、貨幣状皮膚炎、湿潤性紅斑、脂漏性皮膚炎
18	6/9(火)	2	112	・対面授業	めまい疾患	中村 陽祐	頭頸部 診療科群	めまい疾患を病態から鑑別し、診断と治療を説明できる。	メニエル病、前庭神経炎、聴神経腫瘍、外リンパ漏、椎骨脳底動脈循環不全、ワルンベルグ症候群
19	6/10(水)	5	112	・パターン2遠隔授業業 (ビデオ付きオンデマンド 学習)	網膜2、3	馬場 高志	眼科	糖尿病網膜症について理解する。 全身疾患と関連する網膜疾患について理解する。	糖尿病網膜症、高血圧眼底、網膜血管閉塞性疾患、 未熟児網膜症、レーザー治療
20	6/15(月)	1	112	・対面授業	口腔顎顔面外傷	藤井 信行	歯科口腔外科	口腔顎顔面外傷について理解する。	上顎骨・下顎骨・頬骨骨折、軟部損傷
21	6/16(火)	1	112	・対面授業	皮膚付属器疾患	堤 玲子	皮膚病態学	皮膚付属器疾患について説明できる。	円形脱毛症・男性型脱毛症・痤瘡・ 酒さ様皮膚炎
22	6/16(火)	2	112	・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	鼻・副鼻腔疾患2	竹内 裕美	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	鼻・副鼻腔疾患(アレルギー性鼻炎は除く)の病態と診断及び治療を説明できる。	鼻出血、嗅覚障害、ウエグナー肉芽腫症、 副鼻腔気管支症候群
23	6/22(月)	1	112	・パターン2遠隔授業業 (ビデオ付きオンデマンド 学習)	屈折異常・斜視	唐下 千寿	眼科	屈折異常と斜視・弱視疾患について理解する。	近視・遠視・乱視・斜視・弱視
24	6/23(火)	1	112	・対面授業	薬疹・薬物障害	杉田 和成	皮膚科	薬疹や薬物障害の発生期所、症候と治療を説明できる。	スティーブンス・ジョンソン症候群、 ライエル症候群、固定薬疹
25	6/23(火)	2	112	・パターン2遠隔授業業 (ビデオ付きオンデマンド 学習)	眼球運動・視路	春木 智子	眼科	眼球運動と視路の機能と障害について理解する。	眼球運動、外眼筋、神経支配、視路、 視中枢、視覚情報処理
26	6/26(金)	2	112	・対面授業	結膜・涙器・眼瞼	宮崎 大	眼科	眼表面、眼瞼、涙器、涙道の役割と疾患との関連性を理解する。	結膜炎、眼瞼腫瘍、眼瞼炎、眼表面アレルギー、涙腺疾患、涙道疾患
27	6/26(金)	4	112	・対面授業	聴力検査、平衡機能検査	門脇 敬一	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学 (非常勤講師)	聴力検査、平衡機能検査の目的、方法、結果の判定を説明できる。	標準純音聴力検査、語音明瞭度検査、幼児聴力検査、注視・頭位眼振検査、温度眼振検査、視標追跡検査、視運動性眼振検査、電気眼振計
28	7/1(水)	2	112	・対面授業	中耳疾患	矢間 敬章	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	急性中耳炎、滲出性中耳炎などの中耳疾患の病態と診断および治療を説明できる。	急性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、真珠腫性中耳炎、伝音性難聴

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
29	7/2(木)	4	112	・対面授業	喉頭疾患	福原 隆宏	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	喉頭疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	嚥声、声帯ポリープ、浮腫状声帯、反回神経麻痺、喉頭異常感症、逆流性食道炎、急性喉頭蓋炎
30	7/3(金)	3	112	・対面授業	咽頭疾患	竹内 英二	耳鼻咽喉・頭頸部外科学(非常勤講師)	咽頭疾患の病態と診断及び治療を説明できる。	急性扁桃炎、扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍、慢性扁桃炎、病巣感染症、味覚障害、睡眠時呼吸障害、嚥下障害
31	7/7(火)	2	112	・対面授業	ぶどう膜	井上 幸次	視覚病態学	ぶどう膜炎の病態、全身疾患の関連性について理解する。	虹彩、毛様体、脈絡膜、急性ぶどう膜炎、原田病、ベーチェット病、サルコイドーシス
32	7/8(水)	2	112	・対面授業	蕁麻疹・皮膚そう痒症	森田 栄伸	皮膚病態学(非常勤講師)	蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。皮膚そう痒症の原因と病態を説明できる。	蕁麻疹、膨疹、皮膚描記症、血管浮腫、皮膚そう痒症、痒疹、食物依存性運動誘発性アナフィラキシー
33	7/8(水)	5	112	遠隔授業予定	水疱症・膿疱症	名嘉真 武国	皮膚病態学(非常勤講師)	自己免疫性水疱症の原因、病態と分類を説明できる。膿疱症の種類と病態を説明できる。	棘融解、デスメグレイン、BP180、デスモソーム、ヘミデスモソーム、海綿状膿疱
34	7/9(木)	4	112	・対面授業	全身と皮膚	後藤 寛之	皮膚病態学	デルマドローム、代謝性疾患について概説できる。	デルマドローム(内臓悪性腫瘍と皮膚)、アミロイドーシス、黄色腫、ポルフィリン症
35	7/10(金)	3	112	・対面授業	頭頸部腫瘍	福原 隆宏	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	頭頸部領域に生じる悪性腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。	鼻・副鼻腔悪性腫瘍、咽頭悪性腫瘍、喉頭癌、頸部リンパ節腫脹
36	7/13(月)	1	112	・対面授業	嚥下障害	藤原 和典	頭頸部診療科群	嚥下障害の病態、診断、治療について理解し説明できる。	内視鏡下嚥下機能検査、嚥下造影検査、嚥下改善手術、誤嚥防止術
37	7/14(火)	5	112	・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	上皮系腫瘍	清原 祥夫	皮膚病態学(非常勤講師)	上皮系腫瘍の診断、治療、予後について理解する。	有棘細胞癌、基底細胞上皮腫、Bowen病、Paget病

教育グランドデザインとの関連:3

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:2

評価:定期試験 90%、小試験 10%

実務経験との関連:なし

教科書:標準皮膚科学(第11版)(医学書院、岩月啓氏、2020年2月)、皮膚病アトラス(第5版)(文光堂、西山茂夫、2004)、眼科学 疾患とその基礎 改訂版(メディカル葵、大橋裕一ほか)、

現代の眼科学(改訂第11版)(金原出版、所敬・吉田晃敏・谷原秀信)、STEP 耳鼻咽喉科(高橋秀樹、海馬書房)、耳鼻咽喉科学(金芳堂、久保武・田村学・猪原秀典)

イラスト耳鼻咽喉科(文光堂、森満保)、口腔内科学(飛鳥出版、尾崎登喜雄、2008)、口腔外科学(医歯薬出版、白砂兼光・古郷幹彦、2010)、

標準形成外科学 第6版(医学書院、平林慎一・鈴木茂彦)